

東京

「其の日」暮らし

＝ドイツ編＝



フリーマーケットは楽し

雪の代わりに雨が降ることが多くなり、ようやく春らしくなったこの頃ですが、さつき外に出てみるとなんと門柱や門に雨の代わりに雪がうっすらと積もっているではないですか！ もつと春を実感できるような書き出しを考えていたのに、ガラガラと音を立てて崩れてしまいました。今月末にはサマータイムに切り替わるのに天気予報でも雪マークがずらずらと並んでいます。そうはいっても日の出の時間が早くなり、日没が遅くなっていつているので「気温が低くてもきちん」と季節は巡っているのだなあ」などと今さら当たり前のことを考えています。

毎年春と秋にフリーマーケットが至る所で開催されます。おもちゃ、服、自転車、本、蚤の市、スキー用品などなどいろいろあるようですが、私が注目するのは子供服のバザーです。毎月発行されている子供向けのフリーペーパーにはその月のイベントがずらずらと並んでいます。その中に毎週末必ずどこかで開催されているバザーの情報も載っているのです。とはいえ土曜日に電車に乗って遠くの町に行くのはさすがに疲れるのもつばら徒歩で行ける近場に絞られてきます。だいたい教会や幼稚園の施設を使ってバザーが行われており、個人が出店して対面式で購入するタイプもあれば、服のサイズごとに分かれているだけで各自気に入ったものをレジに持って行くバザーもあります。出展品はTシャツやジーンズにまでアイロンが当ててあるので（ドイツ

フリーマーケットは楽し



開店直前の様子（左）と開店後の賑わい（右）



フリーマーケットの情報が載っている雑誌



では当然のように下着にまでアイロンを当てます。見た感じはそんなにヨレヨレで汚い物は置いていないし、保存状態も良いものが多いので私はよく利用しています。「え！新品がこの値段？」とか「コレで五ユーロは高い！」などブツブツ考えながら目当ての物を探すのです。開場と同時に入る方がたくさんある中から選ぶことができるので、一五分くらい前からどんどん人が並び始めます。場所によっては妊婦さんは母親手帳（日本の母子手帳のような物）を見せると通常より三〇分〜四五分早く入場してゆっくり買い物ができる制度もあります。今回は、幼稚園で使う外遊び用の防水ズボンを探しに行きました。張り切って開場一五分前に現地に到着し、外で待っていたら係の人に「入っていいわよ」と声をかけてもらいゆったりと探すことができましたが、探している物は見つかりませんでした。そこで近所にもう1つバザーをしている所があったので見に行きましたが、残念ながらそこでも見つけることができませんでした。探し物が必ず見つかるとはいえませんが、いろいろ覗いてみるのは楽しいのです。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞